

2024年3月期 決算

決算説明会

2024年4月26日

株式会社 トクヤマ



2024年3月期決算のポイント

- 半導体市場の低迷により、半導体関連製品の販売が低調に推移したこと等により減収であったものの、化学品、セメントの国内販売価格修正や製造コストの改善が進んだこと等により増益
- 2025年3月期見通しは、半導体市場の回復や原燃料価格を含めた製造コストの改善を見込み、増収増益を予想
- 2024年3月期の期末配当は10円増配し45円を実施。PBR 1 倍達成に向け、株主還元の充実化を目指す

CONTENTS

- ① 2024年3月期 決算
- ② 2025年3月期 業績予想
- ③ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
- ④ トピックス
- ⑤ 補足資料

① 2024年3月期 決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,517	3,419	△98	△3	半導体関連製品の販売数量減少
営業利益	143	256	+113	+79	セメント、化学品国内販売価格修正 製造コストの改善
経常利益	147	262	+115	+78	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 当期純利益	93	177	+83	+90	経常利益の増加
1株当たり 当期純利益 (円)	130.15	246.72	-	-	-
為替 (円/\$)	135	145	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	76,600	69,100	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2023年3月末	2024年3月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,783	4,573	△209	現金及び預金の減少 棚卸資産の減少
自己資本	2,294	2,492	+198	親会社株主に帰属する 当期純利益の積み上げ
自己資本比率	48.0%	54.5%	+6.5ポイント	-
有利子負債	1,424	1,057	△366	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.62	0.42	△0.20	-
ネットD/Eレシオ*	0.32	0.23	△0.09	-
1株当たり純資産 (円)	3,189.01	3,464.47	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前 期 比)

(億円)

	2023年3月期		2024年3月期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,162	68	1,155	115	△6	△1	+46	+67
セメント	585	△37	671	67	+86	+15	+104	-
電子先端材料	915	70	779	33	△136	△15	△36	△52
ライフサイエンス	375	73	414	84	+38	+10	+10	+15
環境事業	138	0	73	△1	△64	△47	△1	-
その他	473	20	436	14	△36	△8	△5	△28
計	3,651	196	3,532	314	△118	△3	+117	+60
セグメント間 消去・全社費用	△133	△53	△112	△57	+20	-	△4	-
連結決算	3,517	143	3,419	256	△98	△3	+113	+79

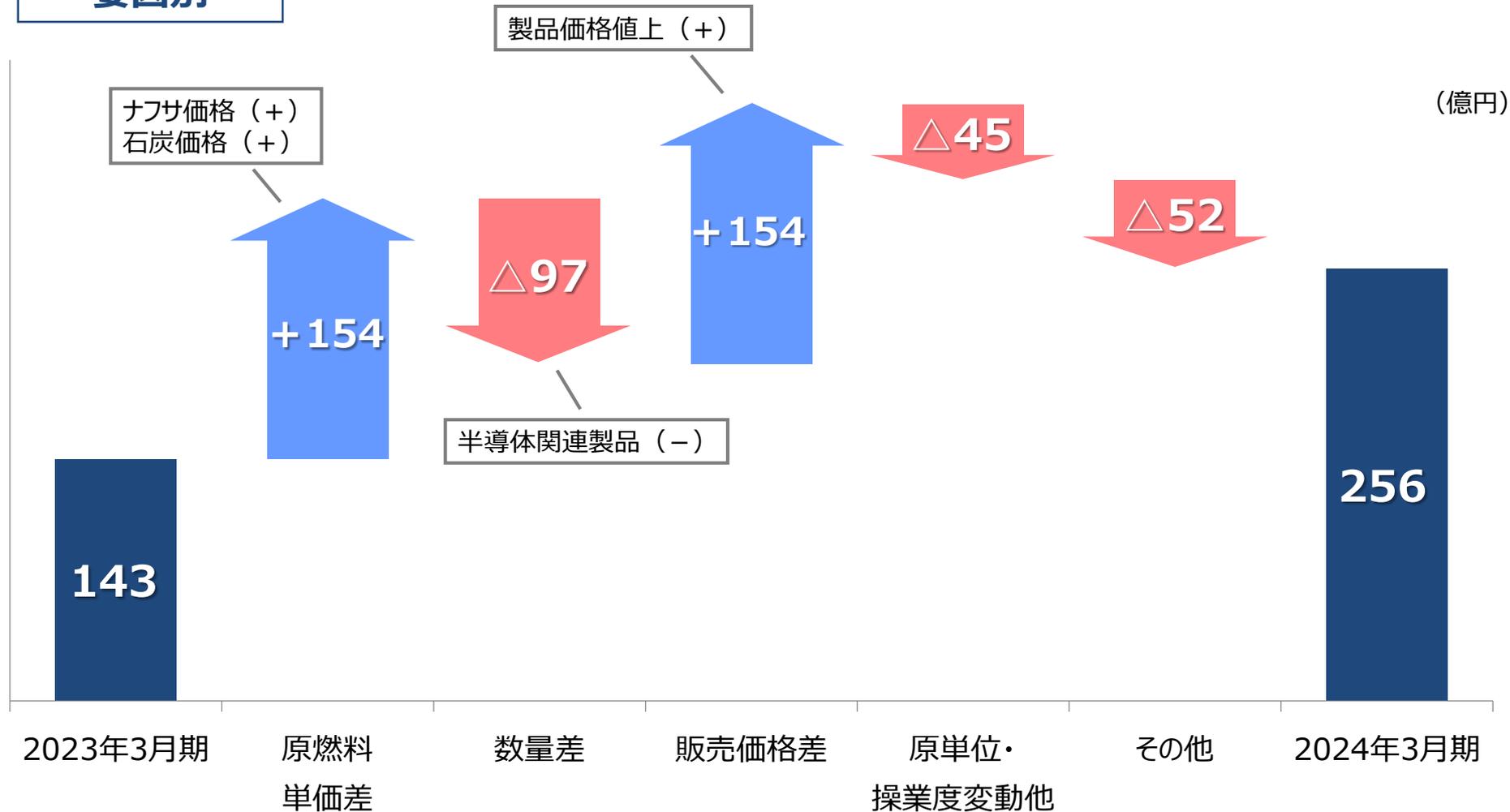
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

① 2024年3月期

3. 営業利益増減分析

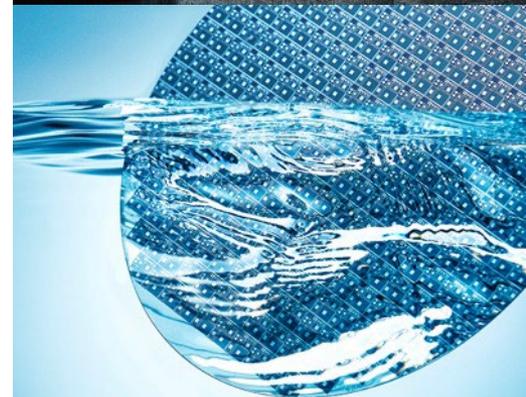
(前 期 比)

要因別



② 2025年3月期 業績予想

1. 業績予想のポイント
2. 業績予想
3. セグメント別業績予想
4. 営業利益増減分析
5. 投資計画



1. 業績予想のポイント

- 2025年3月期業績予想の前提条件は下記のとおり

為替	140円/\$
国産ナフサ価格	65,000円/kℓ

- 半導体市場は2023年度に比較し一定の回復局面を想定
- サプライチェーンにおいて、回復するタイミングは異なると予想するが着実に拡販を進める

2. 業績予想

(当 期 比)

(億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,419	3,520	+100	+3	半導体関連製品の販売数量増
営業利益	256	330	+73	+29	半導体関連製品の販売数量増 製造コストの改善
経常利益	262	310	+47	+18	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 当期純利益	177	250	+72	+41	経常利益の増加
1株当たり 当期純利益 (円)	246.72	347.48	-	-	-
為替 (円/\$)	145	140	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	69,100	65,000	-	-	-

3. セグメント別業績予想

(当 期 比)

(億円)

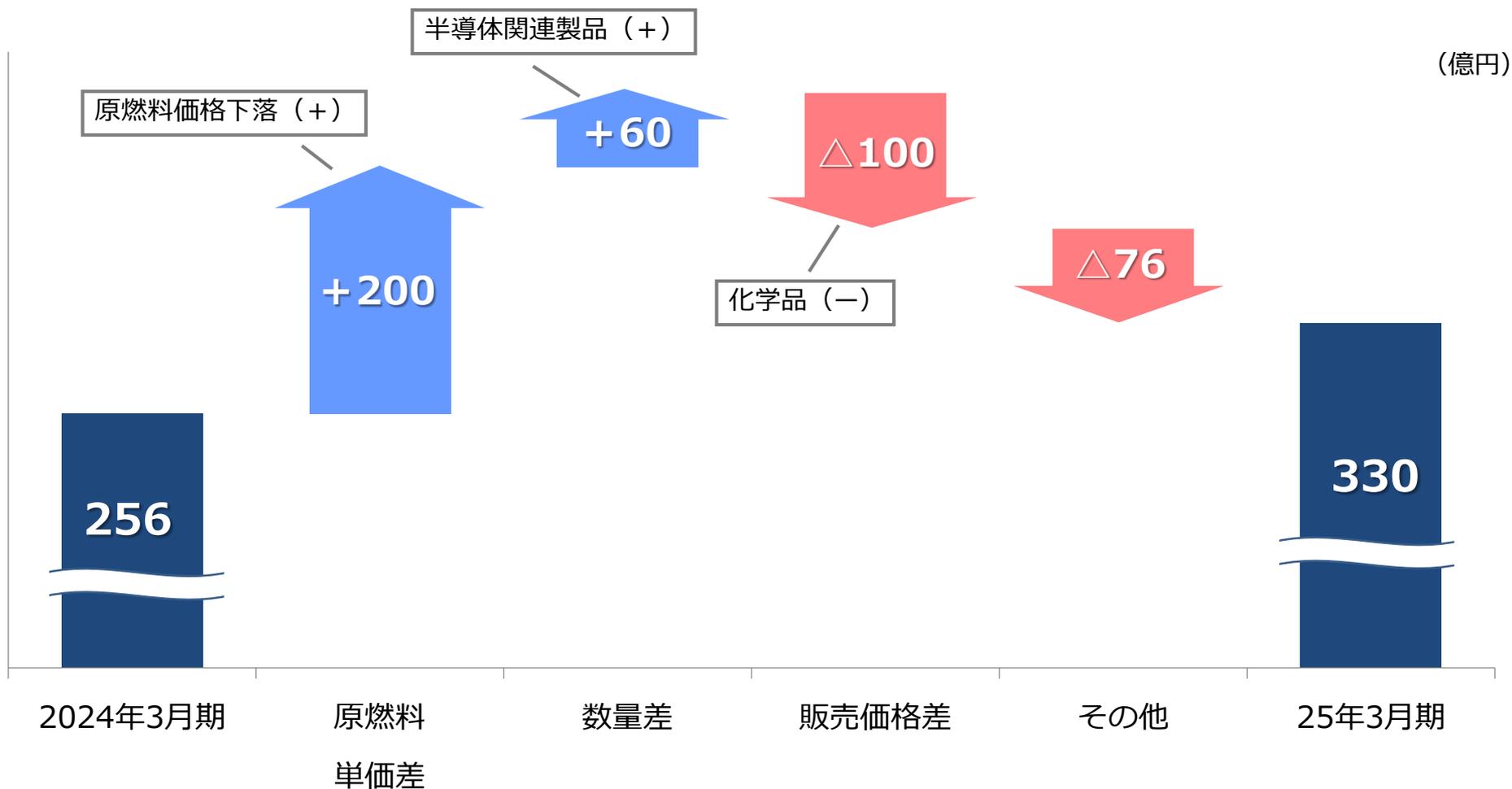
	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,155	115	1,200	135	+44	+4	+19	+17
セメント	671	67	670	80	△1	△0	+12	+19
電子先端材料	779	33	865	70	+85	+11	+36	+109
ライフサイエンス	414	84	430	90	+15	+4	+5	+6
環境事業	73	△1	60	0	△13	△19	+1	-
その他	436	14	410	30	△26	△6	+15	+103
計	3,532	314	3,635	405	+102	+3	+90	+28
セグメント間 消去・全社費用	△112	△57	△115	△75	△2	-	△17	-
連結決算	3,419	256	3,520	330	+100	+3	+73	+29

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

4. 営業利益増減分析

(当 期 比)

要因別



5. 投資計画

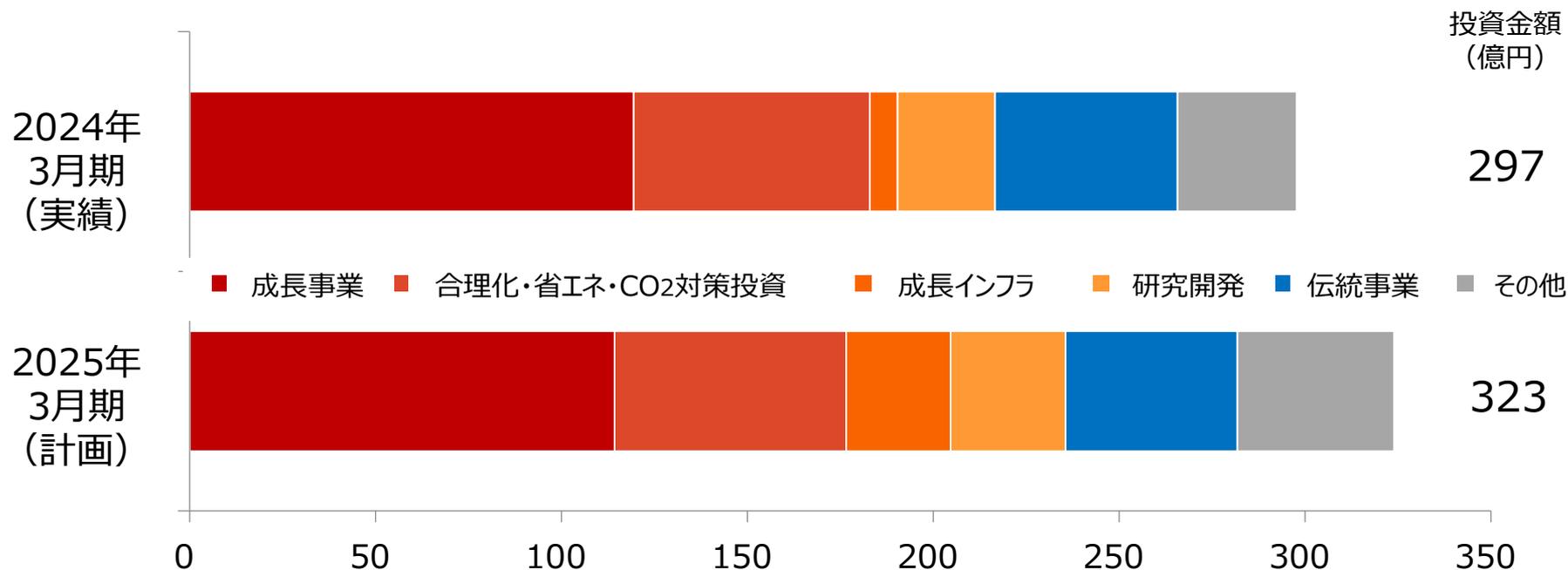
(億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増 減
設備投資額	297	323	+26
減価償却費	176	208	+31
研究開発費	144	178	+34

5. 投資計画

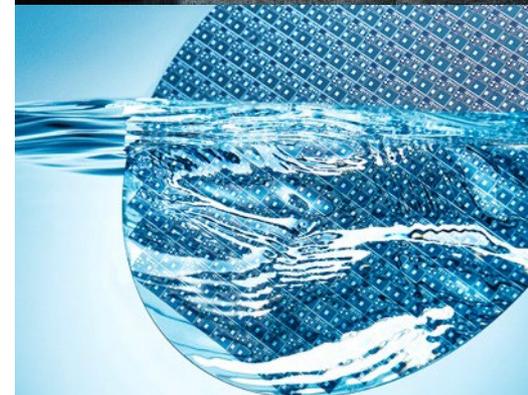
設備投資 主な案件

2024年3月期（実績）	2025年3月期（計画）
高純度IPA 韓国JV工場建設	発電所 バイオマス混焼関連投資
歯科器材 製造能力増強	DX関連投資
半導体向け多結晶シリコン 生産性向上	医療診断システム 製造能力増強



③ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
2. 株主還元



1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

1. 現状評価

PBR1倍未達はROEの回復遅れや将来の成長性への認知不足

2. 方針・目標

中期経営計画2025の着実な遂行

3. 具体的な取り組み

(1) 株主還元の充実化

⇒ DOE3%を目標とし、配当性向30%以上を目指す

(2) ROICを積極的に活用した成長事業への重点投資と既存事業の見直し

(3) 政策保有株式の縮減

(4) 株主との対話

※ 詳細は4月26日適時開示参照

2. 株主還元

方針：2025年3月期以降、DOE3%を目標とし、配当性向30%以上を目指す

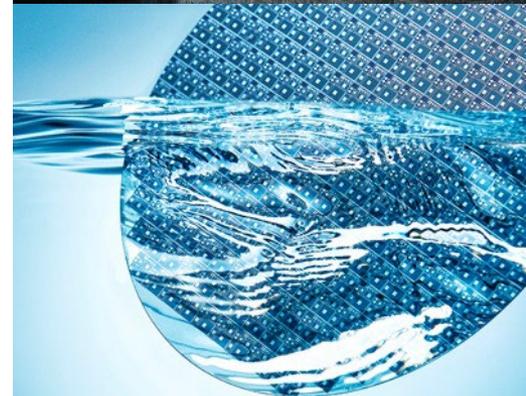
- ▶ 2024年3月期：2024年3月期の期末配当は、10円増配し45円を実施
年間配当は70円予想から10円増配し80円に
- ▶ 2025年3月期：配当は、中間・期末とも50円を実施予定

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024 予想
中間配当金（円）	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	(50.0)
期末配当金（円）	35.0	35.0	35.0	35.0	45.0	(50.0)
配当性向（%）	24.4	19.9	18.0	53.8	32.4	(28.8)
DOE（%）	2.9	2.6	2.4	2.3	2.5	(2.9)

DOE:期末時点の連結株主資本配当率

④ トピックス

1. セメントキルン1系列停止について
2. 経営説明会開催について



1. セメントキルン1系列停止について

- ・ 2023年4月28日付「セメントキルン1系列停止の検討開始について」の通り、セメントの適正な生産体制構築の検討を実施
- ・ 直近の国内のセメント需要の急激な減少、製造設備維持に必要な固定費の上昇、および外部への影響等を総合的に考慮した結果、キルン2系列の生産体制が最適であると判断し、キルン1系列を停止
- ・ 今回の停止による国内セメント販売への影響なし

2. 経営説明会開催について

◆ 経営説明会の開催

内容：「中期経営計画2025の進捗」

日時：2024年6月6日(木)

投資家・アナリスト向け

13:00～

マスコミ向け

16:00～

登壇：代表取締役 社長執行役員 横田 浩

代表取締役 専務執行役員 杉村 英男

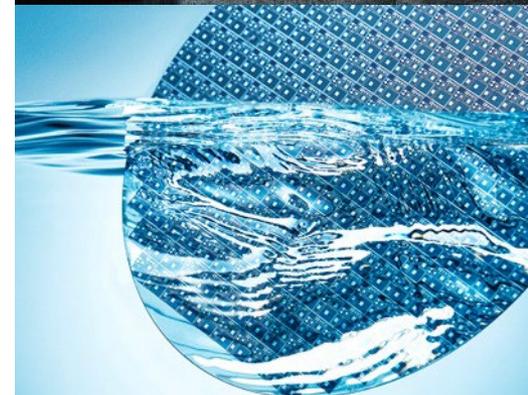
※詳細は別途ご案内

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

5 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. セグメント別業績予想
3. 営業外損益・特別損益・金融収支
4. 業績推移
5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移
6. 有利子負債残高推移
7. キャッシュフロー推移
8. 従業員数推移



⑤ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2023年3月期	2024年3月期	増減	
			金額	%
売上高	3,517	3,419	△98	△3
売上原価	2,610	2,424	+185	+7
販管費	764	738	+25	+3
営業利益	143	256	+113	+79
営業外損益	4	6	+2	+47
経常利益	147	262	+115	+78
特別損益	△3	△4	+0	-
税前当期純利益	144	258	+114	+79
法人税等	50	84	△33	△67
非支配株主損益	△0	△3	+3	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	93	177	+83	+90

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約） 貸借対照表

(億円)

	2023年3月末	2024年3月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,783	4,573	△209	△4
流動資産	2,536	2,177	△359	△14
有形固定資産	1,553	1,687	+134	+9
無形固定資産	34	34	△0	△0
投資その他の資産	658	673	+15	+2

	2023年3月末	2024年3月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,367	1,974	△393	△17
流動負債	882	1,039	+156	+18
固定負債	1,484	934	△550	△37
純資産合計	2,416	2,599	+183	+8

2. セグメント別業績予想

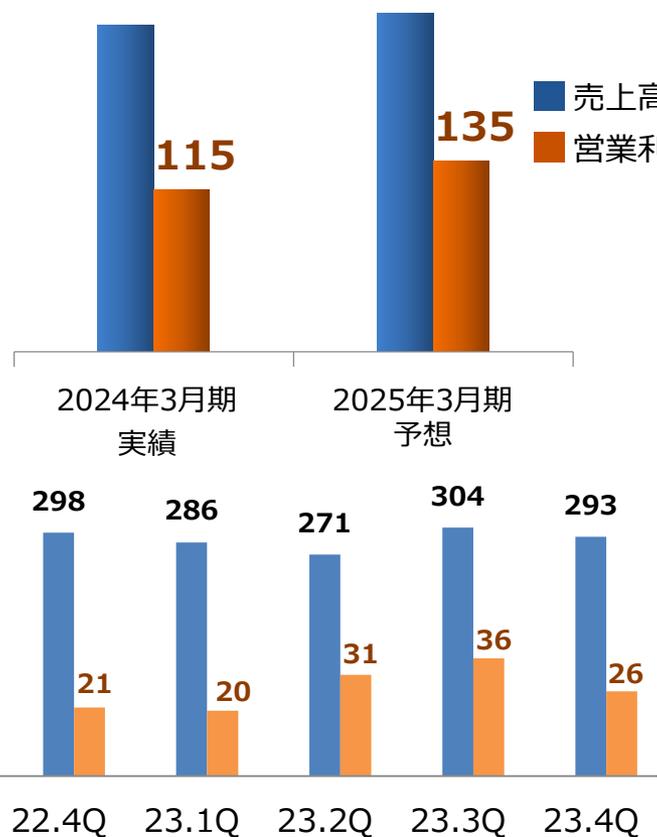
(当 期 比)

化成品

増収増益

定性情報

1,155 1,200 (億円)

■ 売上高
■ 営業利益

- ・ 原燃料価格の動向や、主要製品の海外市況など、収益面で変動リスクの大きい状況が継続
- ・ 新たな営業体制による販売力強化の推進するなど、事業環境の変動に対応した施策の実施により、収益確保に努める

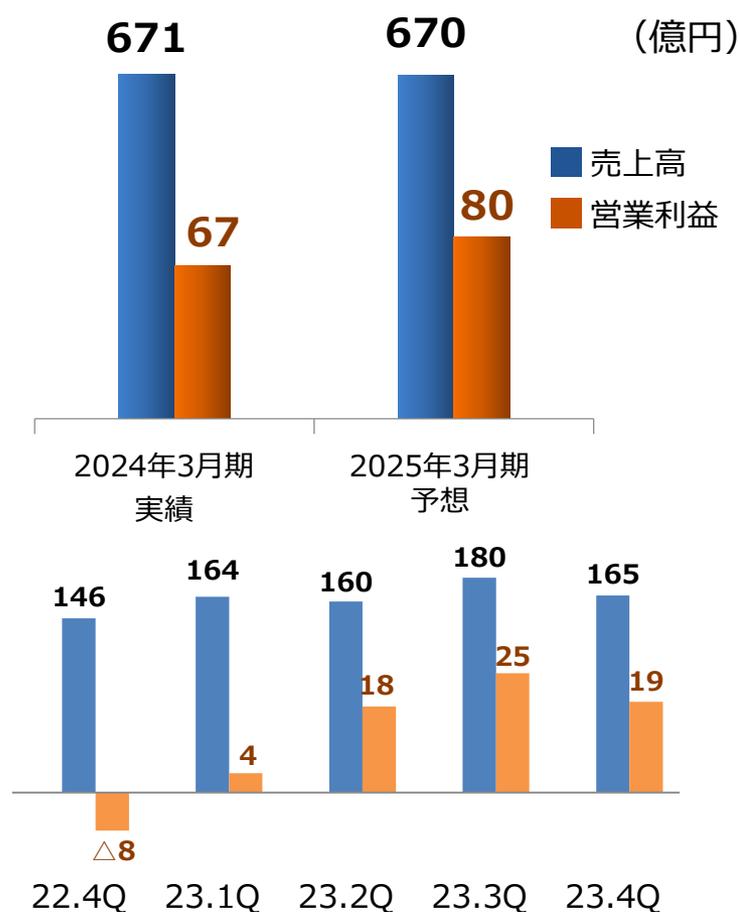
2. セグメント別業績予想

(当 期 比)

セメント

売上当期並み
増益

定性情報



- 国内需要は、都市部での再開発工事や工場建設等で民需は堅調であるものの、工期の長期化や施工者、物流業者等の人手不足により、出荷は2023年度並みの水準を予想
- 適正な販売価格を維持し、収益向上に努める

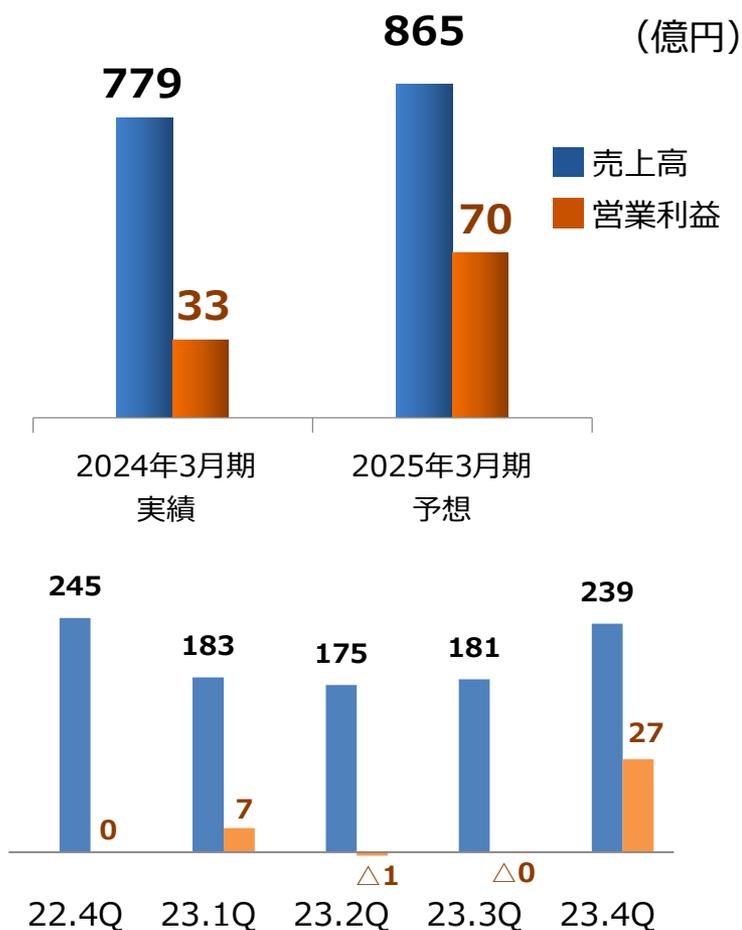
2. セグメント別業績予想

(当 期 比)

電子先端材料

増収増益

定性情報



- 半導体市場はサプライチェーンによって回復時期が異なるものの、中長期期的に需要が拡大していくものと予想

(半導体向け多結晶シリコン)

- 品質を更に追求し、他社との差別化を図る

(ICケミカル)

- 台湾からの出荷増を目指すとともに、韓国の製造・販売拠点整備により、需要拡大に対応したグローバルでの供給体制の確立に注力

(乾式シリカ・放熱材)

- 既存製品の拡販及び開発品の製品化を進める

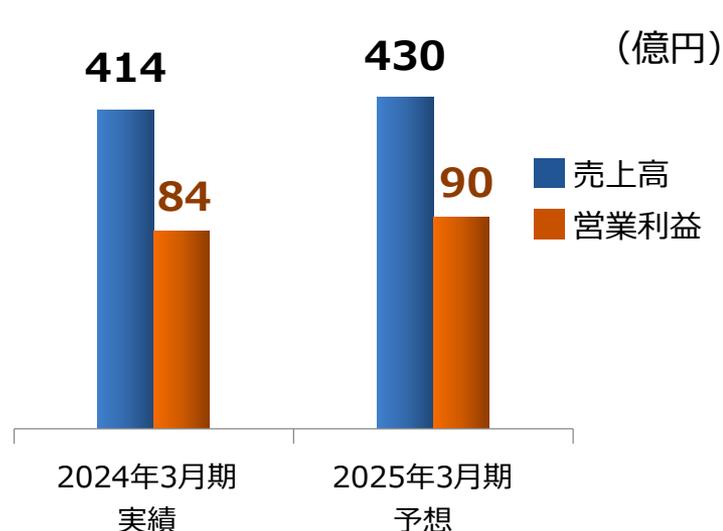
2. セグメント別業績予想

(当 期 比)

ライフサイエンス

増収増益

定性情報

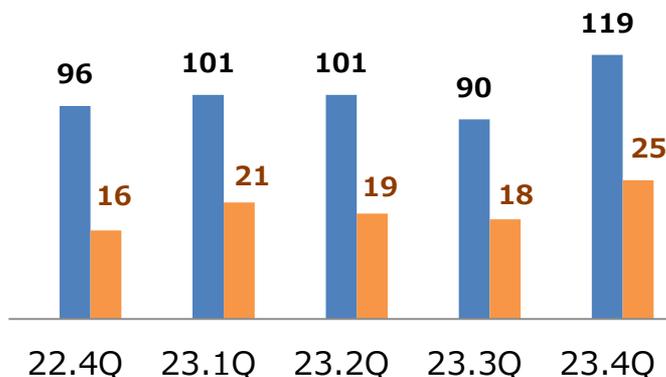


(プラスチックレンズ関連材料・歯科器材)

- ・ 海外向けを中心に堅調な推移を見込んでおり、引き続き顧客ニーズや市場の変化に対応した新製品開発と販売活動に注力し、収益の拡大を目指す

(医療診断システム)

- ・ 主要製品の拡販に努め、収益の拡大を目指すとともに、診断試薬開発を推進



2. セグメント別業績予想

(当 期 比)

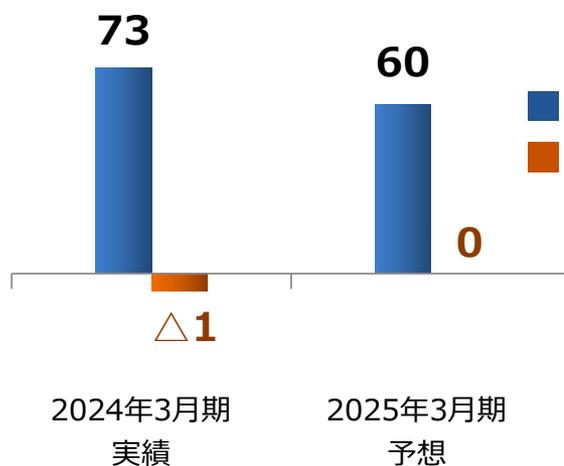
環境事業

減収赤字縮小

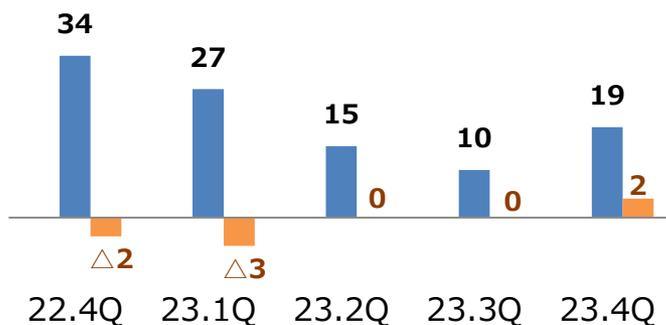
定性情報

(億円)

■ 売上高
■ 営業利益



- ・ 持続可能な社会の実現を目指し、イオン交換膜及び廃石膏ボードリサイクル等の既存事業の拡大を進めるとともに、GHG排出削減の技術の開発と事業化を加速し、事業ポートフォリオ転換への貢献を目指す



3. 営業外損益・特別損益・金融収支

(億円)

		2023年3月期	2024年3月期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	7	7	+0
	その他	54	46	△8
	計	62	54	△8
営業外費用	支払利息	15	13	+2
	その他	41	34	+7
	計	57	47	+10
営業外損益		4	6	+2

特別利益	4	8	+4
特別損失	8	13	△5
特別損益	△3	△4	△0

金融収支	△8	△5	+2
------	----	----	----

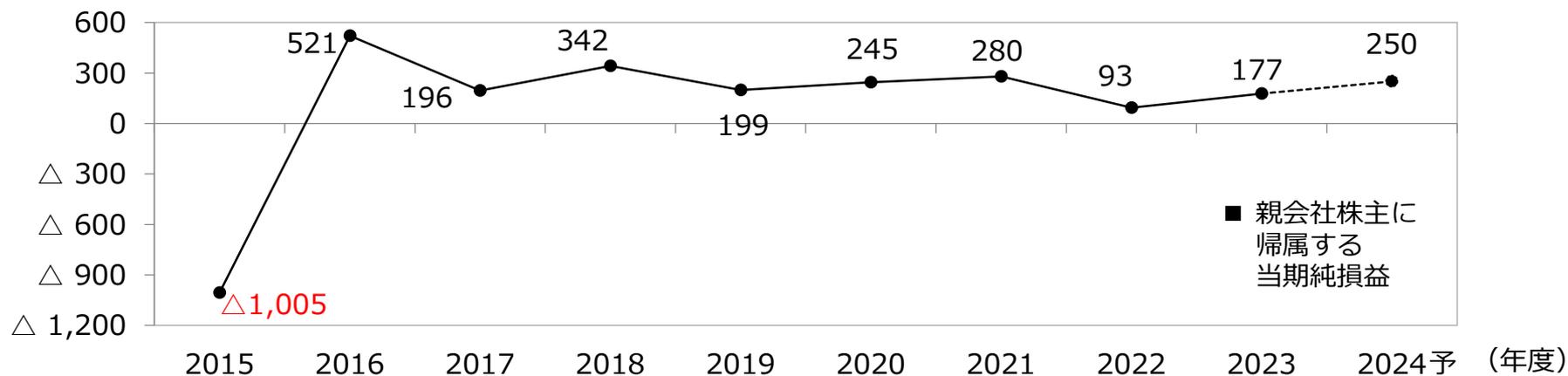
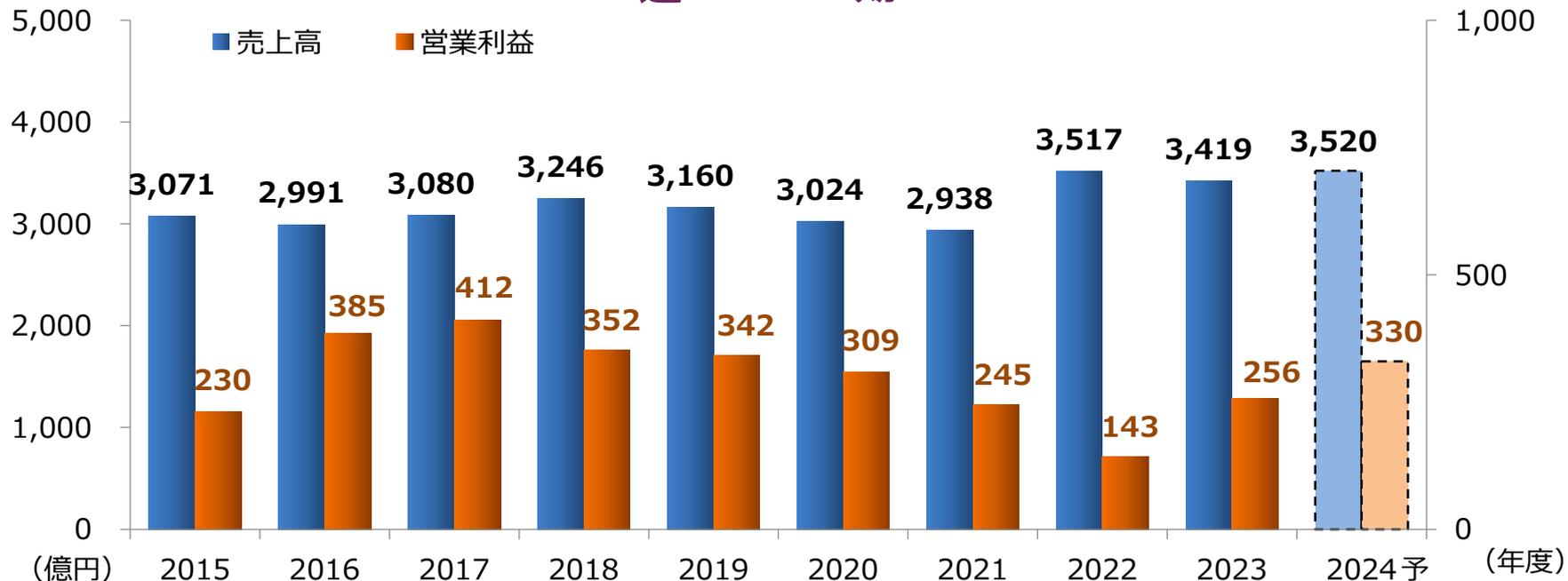
(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4. 業績推移

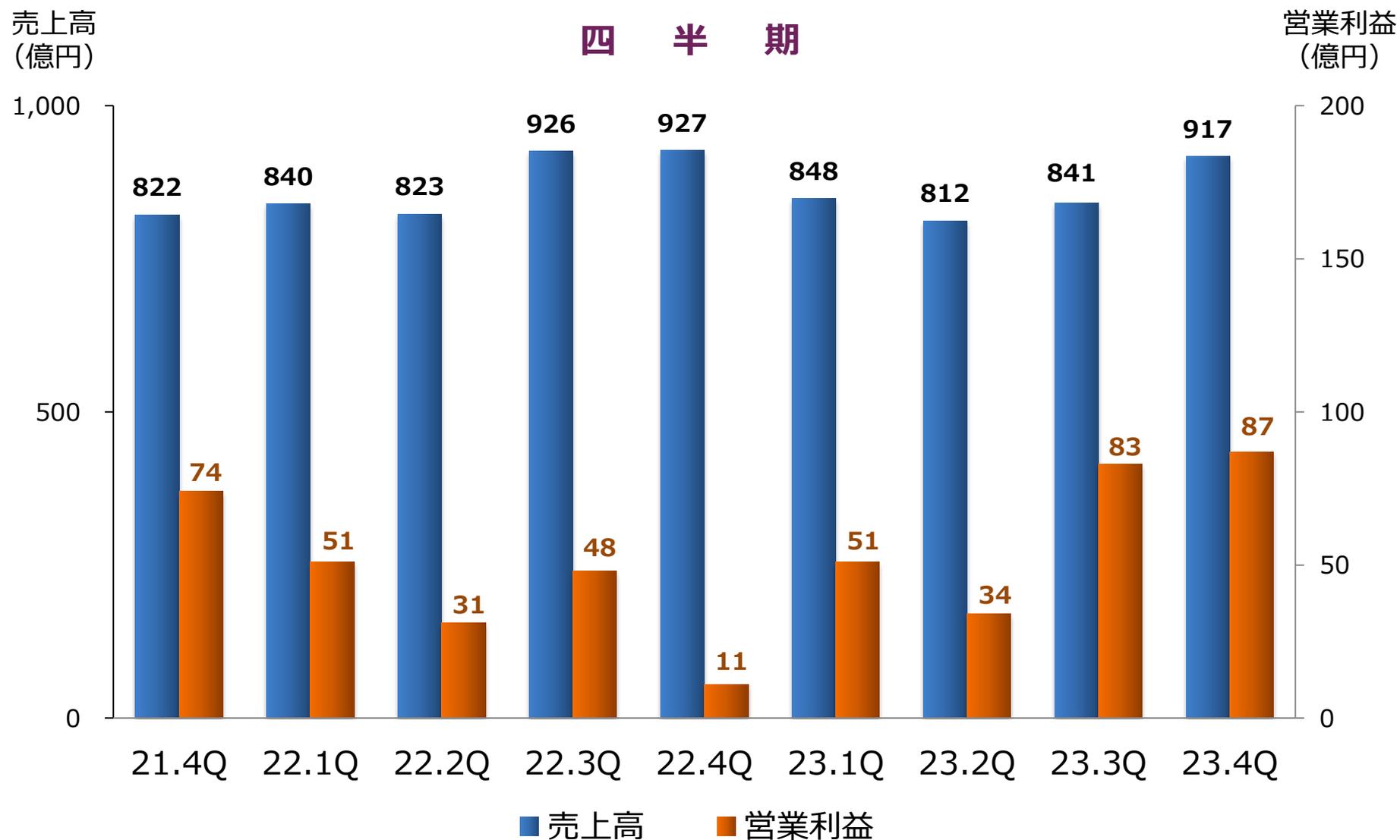
売上高 (億円)

営業利益 (億円)

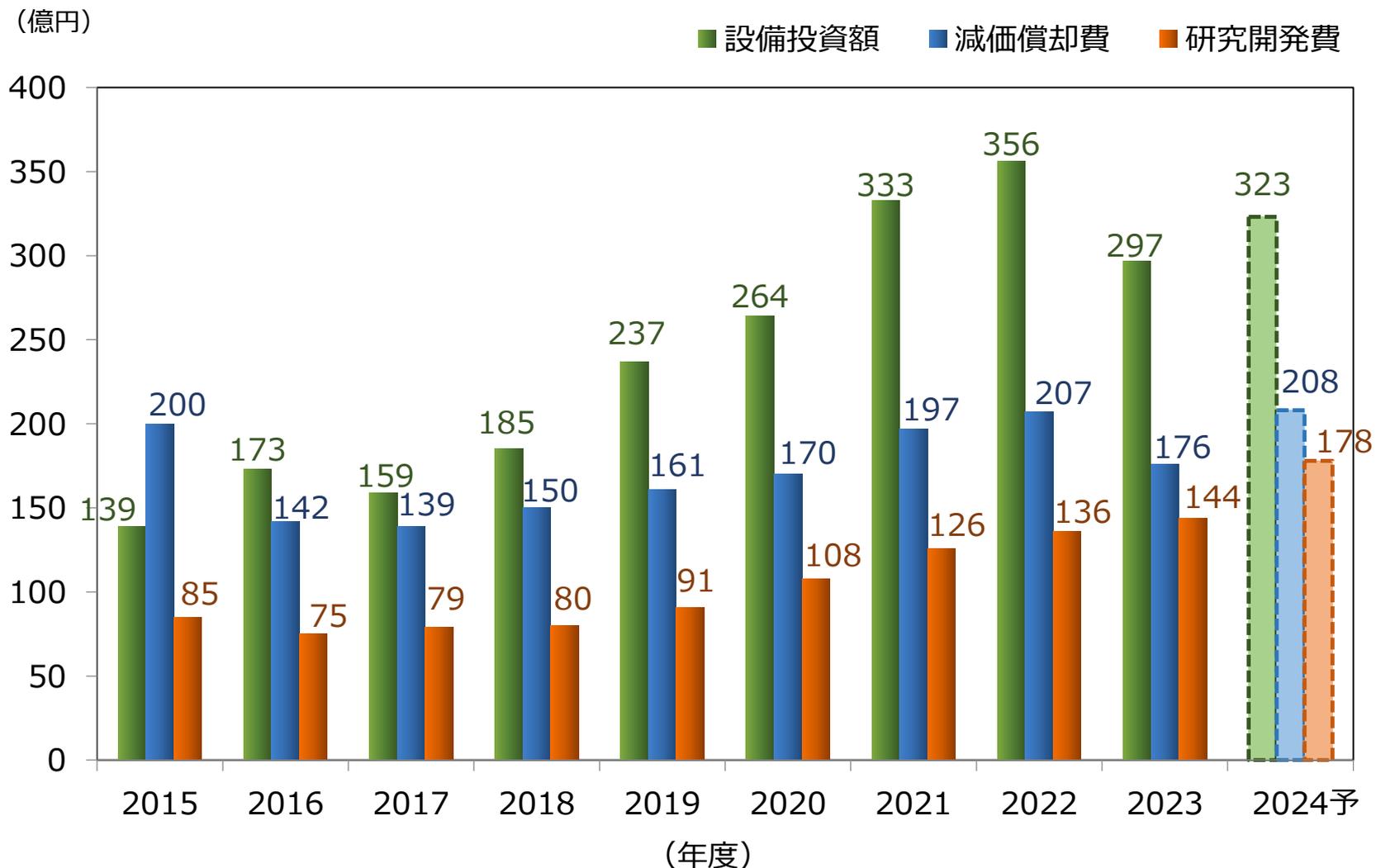
通 期



4. 業績推移

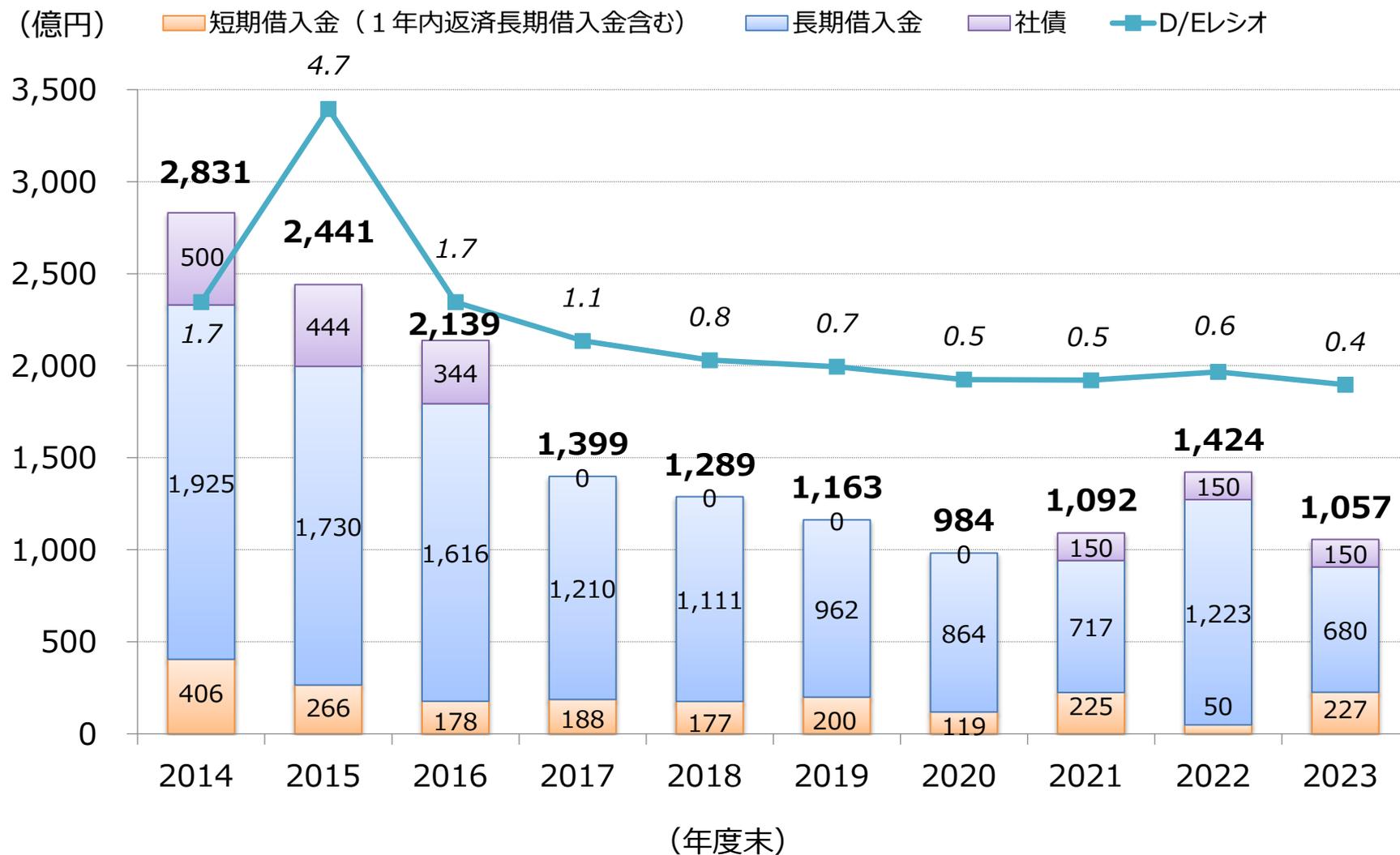


5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移

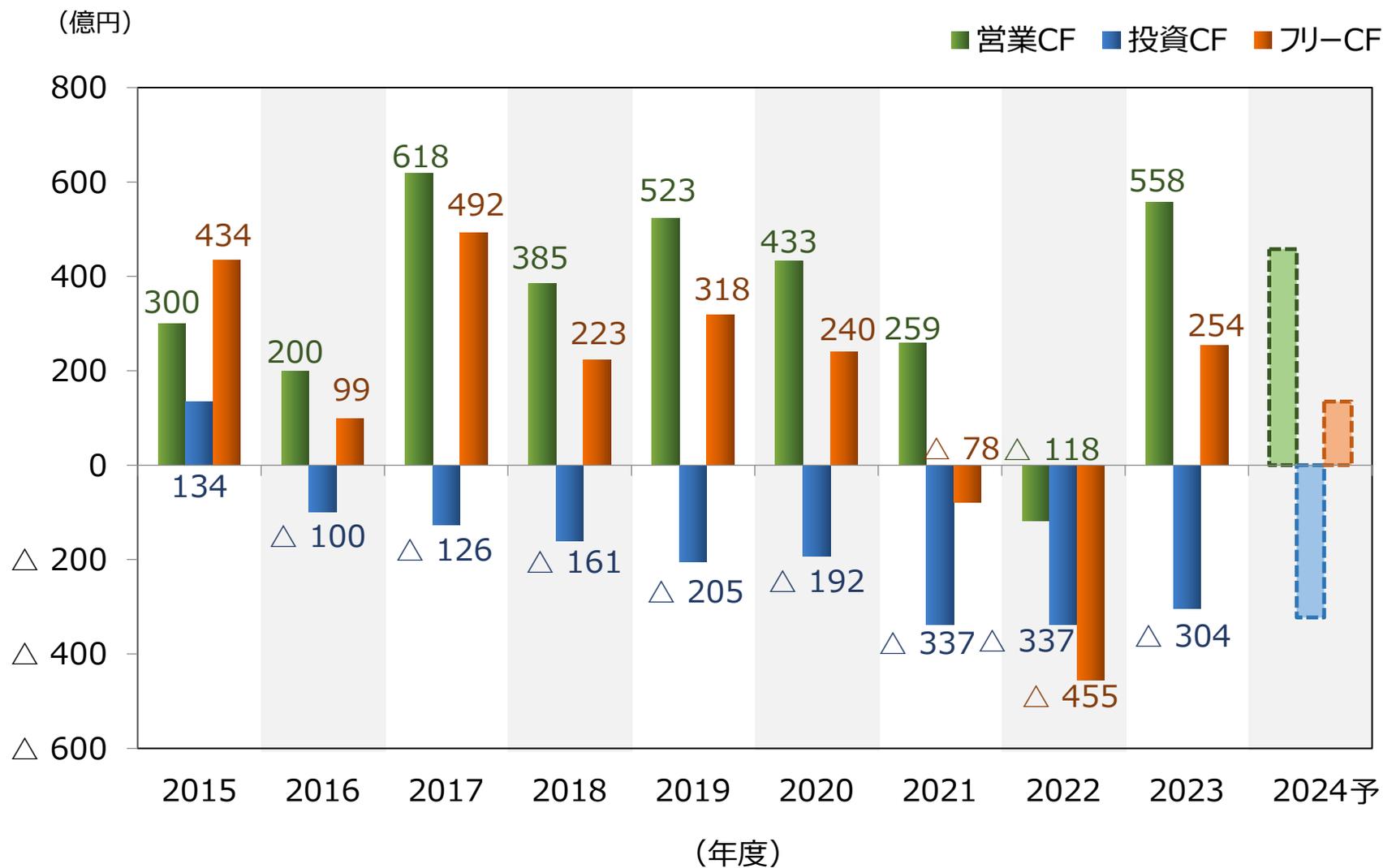


(注) 2023年度より、有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております

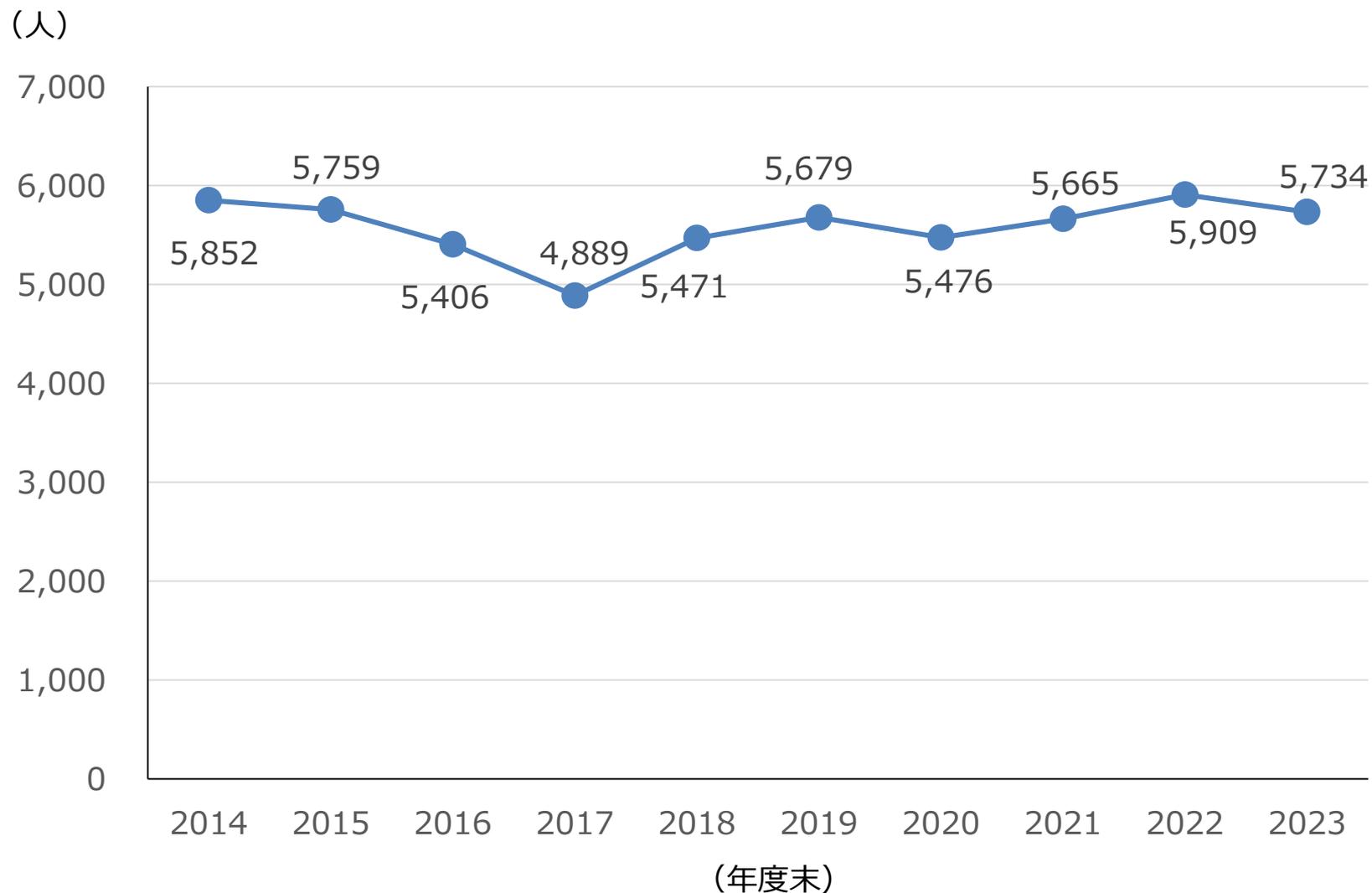
6. 有利子負債残高推移



7. キャッシュフロー推移



8. 従業員数推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 